

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	下辻地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長崎県及び島原市	422037	1	H21～H25	H21～H25
活性化計画の区域				
長崎県島原市下辻地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備 考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保。	9.4ha	9.1ha	96.8%	

(コメント)

農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積は、一部を受益から除いたことにより、目標値9.4haに対し実績値9.1haと減少したが、概ね目標を達成しており、農地及び道路・水路を整備し、営農および生活条件を改善することで定住等の促進に寄与した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
基盤整備 (区画整理)	区画整理A=9.1ha			島原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
島原市	平成 2 1 年度	平成 2 5 年度	平成26年3月27日	
事業の効果				
基盤整備（区画整理）事業により、営農労力の節減を図ることや生産効果を高めることができ、効率的かつ安定的な土地利用型農業経営が可能となった。				

3 総合評価

(コメント)

活性化計画の目標達成の指標とした地域人口の減少率は、目標値の4.3%に対し平成25年度末時点の比較で7.5%と増加しているが、24年度末までは目標値を下回って推移していることから、25年度の数値が例外的なものである可能性もあるため、判断は難しいが、基盤整備（区画整理）事業によって、農地及び道路・水路が整備されたことにより、農作業の効率化と地域の生活環境の改善が図られる等、人口の減少を食い止め、定住等の促進を図る目的については、一定の成果を上げている。

4 第三者の意見

(コメント)

本活性化計画の目標は、農業従事者や農業に携わる地域住民の地域からの流出を食い止め、定住等の促進を図ることであり、人口の減少率が若干増加しているものの、人口の推移はほぼ横ばいの状況と推察され、目標は概ね達成されていると思われる。

また、基盤整備（区画整理）の実施により、営農条件が改善され、将来的に営農を継続できる環境が整備されたことで、地域の活性化が図られたものと思われる。

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。